

『介護におけるダイバーシティを どう進めるか』

2017年9月、在留資格「介護」が創設されました。養成校の留学生も増加、卒業生も現場で活躍しはじめました。来日された方への地域の特色ある支援活動も見受けられるようになっていきます。これらの今後の展開について、一緒に考えてみたいと思います。
(敬心学園 職業教育研究開発センター センター長：川廷宗之)

日時 平成30年9月29日(土) 13:30～16:45 (受付13:00～)

会場 早稲田速記医療福祉専門学校 8階 視聴覚教室

費用 500円 * 参加費(資料費)

◇◇ プログラム(予定) ◇◇

総合司会:橋本 正樹(学校法人川口学園 早稲田速記医療福祉専門学校 校長)

13:30～13:40 開会挨拶 小林 光俊(学校法人敬心学園 理事長・全国専修学校各種学校総連合会 顧問)

13:40～13:55 基調報告『留学生の学習支援に関する研究開発プロジェクト』の経緯報告と今後の計画

蔵本 孝治氏(認定特定非営利活動法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織 理事)

ボランティア活動をきっかけに、障害者福祉・介護業務に従事。2009年EPA看護師・介護福祉士候補者の支援業務に携わったことを機に、外国人介護職員との協働をテーマに活動する。介護福祉士・介護支援専門員・社会福祉士。

13:55～15:05 パネルディスカッション『留学生から見た日本の介護』

<コーディネーター> 佐々木 綾子氏(千葉大学国際教養学部 講師)

上智大学文学部社会学科卒。ニューヨーク州立大学大学院社会福祉研究科修了(MSW)。その後NGOや財団での研究業務を経て、一橋大学大学院社会学研究科修了、博士(社会学)。専門は国際社会福祉、人の国際移動と社会福祉。

<シンポジスト>

・文(むん) シナ氏(早稲田速記医療福祉専門学校 留学生:母国 韓国)

2016年来日。2年間、日本語学校で学び日本語能力試験N2取得。韓国ではデザイン、秘書業務を経験。

・ムハammad リズキ シャリフラー氏(日本福祉教育専門学校 留学生:母国 インドネシア)

2016年10月来日。以前より亡き祖父に恩返ししたいと考えていた。名古屋の老人ホームでアルバイトをした際、職員の仕事ぶりに感心し、介護福祉を深く学ぼうと決め、進学の為上京。趣味は日本の音楽を聞くこと・歌うこと。

・スミンガ アラチーゲー シローミ プリヤダルシャニ(関東福祉専門学校卒業後 社会福祉法人元気村 特別養護老人ホーム 馬室くまむろ>たんぽぽ翔楽園くしょうゆうえん>に勤務:母国 スリランカ)

2014年留学生として来日。17年3月入職。入管難民法改正による介護職初の在留資格取得対象の一人。在学中も介護施設でアルバイト、学びと実践を統合し常に利用者一人一人の「より良い生活、より良い人生」を考え支援する大切さを学ぶ。夢は「入居者がみんな優しくて人との触れ合いが楽しい。いつか自分の国で老人ホームをつくりたい」

15:05～15:15 休憩

15:15～ 事例報告・情報提供とご挨拶

事例報告:『地域で育てる多文化介護
～すみだ日本語教育支援の会』

プログラム詳細 裏面に続く

<会場住所・交通ご案内>

東京都豊島区高田 3丁目

11-17 NKビル

・JR山手線高田馬場駅

早稲田口 徒歩1分

・西武新宿線高田馬場駅

徒歩1分

・東京メトロ東西線高田馬

駅 4番出口 徒歩1分

